

## 主な栽培品種



**旭** カナダで約200年前に発見された古い品種で、明治時代に日本に渡り、特に北海道では身近で馴染み深い品種となりました。

9月末はパリッと堅めで酸味が強く、10月中旬から下旬は甘みも出てきてジュシーです。収穫が終わって貯蔵している間に甘く柔らかく熟成し、優しい癒し系の味になります。

旭は寒冷地に適した品種のためオホーツクでは昭和の中期まで多くのリンゴ農家が栽培していました。しかし甘い品種に押されて激減、最近では一般の店頭に並ぶことは殆どありません。

希少品種となった今でもファンが多く、日本全国から注文が来ます。加熱すると崩れやすく、ジャムに加工すると酸味がきいて非常に美味です。英語名は「マッキントッシュ・レッド」といいます。某有名企業のパソコンの名前もこれに由来しています。

**つがる** 良く店頭に並ぶ柔らか目の品種ですが、寒冷地で育つと、硬めで、しっかりしたりんごになります。当園では全て無袋栽培(袋を掛けない)です。北見の強い日差しを浴び、また寒暖の差が大きい気候から、甘みをしっかりと蓄積した実となります。

つがるの兄弟「**紅つがる**」は当園の一番人気。つがるが淡い色なのに対して鮮紅色に色付き、特に女性のお客様に喜ばれます。



収穫期：  
9月末～10月初旬

## その他の栽培品種

品種名	収穫期
ラリタン(数量限定) あかね(数量限定)	9月末～10月初旬
昂林(数量限定) ひめかみ(数量限定)	10月中旬
紅將軍	10月中旬～下旬
ふじ 王林(数量限定)	10月末～11月初旬
千両梨(数量限定)	10月中旬

\* 収穫期は天候によって若干変動します。他にも栽培している品種があります。詳細はお問い合わせください。

# 篠根 果樹園

Shinone Orchard in Okhotsk



**真冬はマイナス20℃以下**

**空気も凍る厳寒のオホーツク**

**シバシバを耐え抜いたリンゴの木々は**

**秋には実りの季節を迎え**

**色鮮やかな身の締まった果実を付けます**



## 篠根果樹園の紹介

篠根果樹園では、約3ヘクタールの面積に700本近いリンゴを栽培しています。北見盆地を囲む丘陵地帯に位置し市街地から約4Kmと近い為、秋には北見市民の皆さんが多く訪れます。また、近隣の地域や、道内各地からのお客様もお越しになり賑わいます。

北見市はオホーツク海に近い内陸部にあり、真冬の最低気温はマイナス20℃を下回る日本国内でも最も寒冷な地域です。また、盆地気候のため、真夏の日中は30℃を軽くこえる暑さとなりますが、夜間はぐっと気温が下がり涼しくなります。寒暖の差が大きいことは、リンゴの生育には最適な気候です。冬の厳しい寒さを耐え抜くリンゴの木々の強い生命力、彼らが育てる果実は、固く締まって濃厚な味です。是非お試しください。

園主：篠根 克典



## 果樹園の略歴

- ・大正時代に先祖が茨城県より入植、熊が歩き回る林野を開墾し、畑作農業を始める
- ・太平洋戦争終戦後に、篠根一がリンゴ栽培に転換
- ・昭和の中期頃、価格低迷、病気の発生、産地間競争等によりオホーツク地域の多くのリンゴ園が離農したり、他作物へ転換したが篠根果樹園は地道な努力と、地元のお客様の支えによって生き残る
- ・平成10年ころより、オーナー制度、及び消費者への直売を始める
- ・平成22年 克典が脱サラし果樹園経営に参加  
ホームページを開設し、インターネット販売を開始
- ・平成28年法人化、オホーツク・オーチャード株式会社設立

## アクセスマップ



オホーツク・オーチャード株式会社(篠根果樹園)

〒090-0002 北海道北見市昭和213-3

TEL ; 0157-25-5502

FAX ; 050-3153-1600

ホームページ ; <http://apple-shinone.com>

ネットショップ ; <http://apple-shinone.sho-pro.jp>



## 北海道北見市で りんごを栽培して60年



除草剤不使用の草生栽培  
有機肥料主体の栽培方法  
健康で元気な樹を育て、  
無袋栽培・完熟果実の収穫により  
味の濃いリンゴをお届けします

## 営業情報

りんご狩り: 9月末~10月末

直売 : 9月末~11月中旬

休日 : 10月は無休、11月は不定休

営業時間 : 8:30~15:30

全国各地への発送、通信販売も承っております

\* 開園時期は毎年の気候によって若干前後することがあります。詳細はお問い合わせください。  
りんごは売切れ次第、販売終了となります。